

特定非営利活動法人 JIPPO

2014(平成 26)年度 活動報告

2014年4月1日から2015年3月31日まで

2014年度を振り返って

今年度は、2013年の台風30号によって被害を受けたフィリピンでの小学校再建支援が最大の事業でした。宗派が国際貢献活動の実施団体として設立したJIPPOには、これまで宗派が赤十字や国連機関、大使館などに寄付してきたご門徒からの募金を、具体的な支援のかたちが見え、現地との関係を持続できるように使うことが期待されています。活動経験のないフィリピンにおいて、現地の実状に合った、適切な支援を行うため、スリランカやパキスタンでの経験を生かすだけでなくフィリピンを専門とする研究者や団体から助言を得ながらプロジェクトを進めました。地理的に支援のしにくい奥地にあるだけでなく、行政上の問題が次々と露呈したことにより、年度内に完成させることが出来なかったことは残念ですが、限られた資金と人材を十分に生かし、海外支援を行う上で重要な、現地の主体性を尊重し育む姿勢は忘れずに、迅速な完成を目指していきます。

国内においては、南相馬における菜の花プロジェクトの支援農家が二期目の作付けを行ない、1haから15haへと栽培面積が増えました。交流プログラムを企画し、福島を忘れないよう働きかけることが重要ですが、イベントのPRや啓発には課題が残ります。今後は、生産される菜種の販売促進を中心に支援していきたいと考えています。

年間通して広報、情報発信が十分できなかつたことが反省すべき点として挙げられます。次年度はホームページの更新、会報の発行、SNSなどの有効活用により、会員や寄付金の増強を図っていきます。

各事業の実施内容

(1)海外支援事業

①


事業名	2013年フィリピン台風30号 災害復興支援事業 サンブラワン小学校再建プロジェクト		
実施地	フィリピン共和国	レイテ州	サンイシドロ町 バランガイ バスッド
期間	2014年4月1日(月)から継続中		
内容	<p>2013年11月のフィリピン台風30号によって大破した、フィリピンレイテ州サンイシドロ町バランガイバスッドの「サンブラワン小学校」を再建する事業。6月に実施地を選定する調査を実施し、8月よりカウンターパートとの調整を開始したが、10月、現地の土地所有権の問題や、行政機関の事情により実施カウンターパートを変更。契約以降は次年度事業とした。</p>		



台風により崩壊した校舎

受益者	バランガイ バスッドの100世帯の子どもとその親、約200人
成果	実施選定のための調査を行なった2014年6月は、緊急支援をほぼ終え、海岸に近い被災地には多数の国際援助団体が支援を行っていた。そうした支援から取り残された状態だった「サンブラワン小学校」の支援は草根の野活動にふさわしい活動である。一方アクセスが悪く、資材の運搬も儘ならない辺境のため、コストもかかり、行政間の管轄に混乱もあるなど、実施に多くの時間を要すこととなった。
事業費	3,468,183円(2014年度支出分 間接人件費を除く)
指定寄付	浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金 浄土真宗本願寺派 仏教婦人会総連盟 浄土真宗本願寺派 奈良教区 島根県 小笠原義宣様、島根県 朋澤智弘様、京都府 戸川憲成様 その他募金


②

事業名	スリランカ ハプタレー市立幼稚園 オーディオ機材支援
実施地	スリランカ ウバ州 ハプタレー市
実施日	2014年8月29日(金)
受益者	ハプタレー市立幼稚園 園児と教員 約50名
内容	幼児教育支援を行なっている同幼稚園に、教育機材としてテレビモニターとCD、DVDデッキ、スピーカー一式を支援した
成果	<p>これまで幼稚園には音響機材がなく、遊戯や歌などの遊びにCDをかけたり、教材のビデオを見たりすることもできなかったが、機材の提供により子どもたちの活動が広がった。</p>  <p>設置されたテレビで教材ビデオを見る子どもたち</p>
事業費	84,126円
指定寄付	途上国における子どもたちの健全育成をはかる事業

(2) スタディツアーの企画・実施


①

事業名	東ティモール&バリ 「コーヒーと民芸品…異なる二つのフェアトレード、そして住民の暮らし」
実施地	東ティモール・マウベシ、インドネシア・バリ
期間	2014年8月2日(土)から8月10日(日)

<p>内 容</p>	<p>JIPPO が扱うフェアトレード商品 (カフェ・ティモール) 生産地のマウベシ地方と、隣国インドネシア・バリを訪問し、それぞれのフェアトレードの実情や、島民の暮らし、自然、文化に触れた。最少催行人数に達しなかったが、大学連携を進めるうえで、大阪大学のプログラムの視察として実施した。</p>	
<p>参加者</p>	<p>4 名 (JIPPO 引率 2 名を含む)</p>	

現地のコーヒー焙煎を体験

②

<p>事業名</p>	<p>スリランカ「茶園と仏跡を訪ねる旅」</p>	
<p>実施地</p>	<p>スリランカ・ヴァヴニア、シーギリア、ハプタレー、コロンボ</p>	
<p>期 間</p>	<p>2014 年 8 月 24 日 (日) から 8 月 31 日 (日)</p>	
<p>内 容</p>	<p>JIPPO が扱うフェアトレード商品 (ウバ紅茶) 生産地のグリーンフィールド農園や仏教遺跡の視察のほか、ヴァヴニアのセイワランカ農業研修センターに宿泊し、現地の生活に触れた。大学連携として、京都女子大学の単位認定プログラムや、龍谷大学経済学部フィールドワーク実習Ⅱに採用され、20 名の大学生がこの制度により参加した。また、ハプタレー市立幼稚園のオーディオ機材贈呈を行ない、子どもたちと交流を図った。</p>	
<p>参加者</p>	<p>20 名 (JIPPO 引率 2 名を含む)</p>	

茶摘みを体験する学生

③

<p>事業名</p>	<p>大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム「東ティモール フィールドスタディ」</p>	
<p>実施地</p>	<p>東ティモール デイリ、アタウロ島</p>	
<p>期 間</p>	<p>2015 年 2 月 22 日 (月) から 3 月 7 日 (土)</p>	
<p>内 容</p>	<p>大阪大学の委託事業として実施。同大学院学生 9 名が、東ティモールを訪れ、アタウロ島でホームステイしながら漁民の暮らしを体験したほか、首都デイリで大学生との交流、歴史・社会を学ぶレクチャー、学びを発表するセッションなどを行なった</p>	
<p>参加者</p>	<p>12 名 (教員 2 名、JIPPO 引率 1 名を含む)</p>	

(3) フェアトレード事業

① 京都商工会議所入会

10月、京都商工会議所に入会した。フェアトレード事業の販売促進活動として、商社や食品店との商談会に2度参加した

【販売実績 2015年3月31日】

商品名	売上個数				
	4月 ～6月	7月 ～9月	10月 ～12月	1月 ～3月	合計
ウバ紅茶リーフ (袋)	販売終了				
ウバ紅茶リーフ (箱)	68	61	53	48	230
ウバ紅茶ティーバッグ	145	83	236	67	531
カフェ・ティモール (ドリップ)	235	197	338	225	995
カフェ・ティモール (粉)	110	26	58	39	233
カフェ・ティモール (豆)	35	35	20	5	95
カフェ・ティモール ドリップ (バラ)	464	312	320	389	1485
カフェ・ティモール ミニパック (3P)	2	13	57	0	72
カフェ・ティモール ミニパック (4P)	0	0	4	0	4
カフェ・ティモール ミニパック (5P)	0	1	10	0	11
業務用ティーバッグ (単体)	5,000	0	0	0	5,000
業務用レギュラーコーヒー (500g)	48	23	37	38	146

【売上額 期末決算】

年間売上額：¥2,047,825.-

(前年度売上：¥2,569,975.- 前年度比：79.7%)

事業開始からの売上総額 ¥18,646,685.-

販売個数、売り上げとも前年度から減っており、3年間連続のマイナスとなった。

(4) 東日本大震災復興支援

①

事業名	「菜の花プロジェクト」お花見イベント
実施地	南相馬市小高区
実施日	2014年5月10日(土)、11日(日)
内容	南相馬市小高地区の「ファーム蛸沢」(代表、佐藤良一さん)の菜の花畑の開花に合わせてライブコンサートと見学会を実施。ふくい舞さん、牛来美佳さんらのライブには約100人、南相馬の視察バスは約40人、宿泊を兼ねた翌日の飯舘村の視察には6人が参加した。築地本願寺発着で予定していたバスツアーは最少催行人数に満たず、中止した

	11日は参加者6名と、飯館村の現状も見学した。
事業費	333,526円
指定寄付	浄土真宗本願寺派 災害対策本部、横浜市 福井舞様、チャリティー募金

②

事業名	「菜の花プロジェクト」PR看板の設置	
実施地	南相馬市小高区 2カ所（国道6号線および農免道路沿い）	
設置日	2014年1月9日（金）	
内容	南相馬市小高区の「蛭沢ファーム」において、栽培面積を前年1haから今年15haに拡張したのに合わせ、国道6号線沿いと農免道路沿いの2カ所に看板を設置。御正忌報恩講のバザー売上145,000円を充当した。	
成果	国道6号線の開通に合わせ、小高区の復興のシンボルとして広く知ってもらえるツールとなった	
事業費	235,440円	
指定寄付	2014年1月御正忌報恩講バザー売上	

菜の花プロジェクト看板

③福島の物産販売

今年度売上額：¥906,731.-

（前年度売上：¥1,010,001.- 前年度比：89.8%）

寺院のイベント等で販売を行った。

④南相馬農地再生協議会の参加

JIPPOが当初より連携してきた「南相馬農地再生協議会」が正式に発足し、2014年5月31日に初総会が開かれ、9月に一般社団法人格を取得した。大型汎用コンバインを購入し、菜の花の栽培地の拡張や、菜種油「油菜ちゃん」の商品化を行なった。JIPPOもイベントや販売等に協力していく。

(5)国内における貧困者への支援

- ・京都市内3河川の巡回を継続。龍谷大学ボランティア・NPO活動センターとの共同事業として、京都市内の仕事を失った人や野宿の人に対し支援を行った。
- ・2014年4月12日（土）、いのちのネットワークお花見会(当事者と支援者のお花見)協力
- ・2015年1月10日（土）、東本願寺前にて野宿者支援の第20回もちつき大会を協力

(6)広報・啓発活動

- ・2014年5月23日（金）、立命館大学 産業社会学部 NGO
ボランティア組織論 I 講義(高木美智代事務局職員)
- ・9月14日（土）、国際協カステーション2013 出展
内容：京都で活動している国際協力団体が一堂に会し活動を紹介するイベントで活動紹介やフェアトレード商品を販売
会場：京都駅ビル9階 京都府国際センター
主催：公益財団法人京都府国際センター
- ・2015年1月10日（土）～12日（月）、御正忌報恩講バザーを実施。売上を菜の花プロジェクトの活動資金に充てる。フィリピン「サンブラワン小学校再建事業」の活動紹介と募金活動も合わせて行った。

(7)情報・広報活動

- ・2014年4月1日より『本願寺新報』にて JIPPO の活動紹介を連載した
- ・2015年4月1日付、会報12号発行

(8)会員管理

【会員数】（2015年3月31日）

- 正会員 129（個人119、団体10）
- 学生会員 16（個人16）
- 賛助会員 181（個人166、団体15）
- 合計 326（個人301、団体25）

(9)組織・事務局体制

- ・6月23日、役員任期満了に伴い改選し、三嶋統吾理事が任期満了を持って退任し、そのほかの理事、監事は、重任を承諾した
- ・7月23日、本多隆朗副理事長が退任し、桑羽隆慈副理事長、田仲隆行理事が新たに就任した
- ・9月24日、園城義孝理事長、桑羽隆慈副理事長が退任し、石上智康理事長、本多隆朗副理事長が就任した
- ・6月1日付、パートタイム職員を雇用 野崎恭子さん。週1日出勤

以 上